

あいち農産物生産流通レポート

平成22年12月号

情報サロン		
・「あいちのふるさと農林水産フェア」を開催しました	(食育推進課)	1
地域トピックス		
・2010花半島事業フラワーフェスティバルin東浦が開催 されました	(知多農林水産事務所)	2
東日本情報		
・銀座でフラワーウォーク～旬菜・旬花 まるごと「あいち」 交流会～	(東京事務所)	3
西日本情報		
・平成22年度 第1回卸売市場活性化実務講座について	(食育推進課)	5
フラワーページ		
・愛知県の「花育」の取り組み	(園芸農産課)	6
青 果		
・愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)		7
・名古屋・東京市場における青果物の12月の見通し		8
花 き		
・切花・鉢花の12月の見通し(県内市場)		20
輸出入		
・主要農産物の輸出入実績(2010年9月)		24
関連指数		25

内容についての問い合わせ先

愛知県東京事務所行政課農産物流通対策グループ

(03)-5492-5400

愛知県農林水産部食育推進課

(052)-954-6417

「あいちのふるさと農林水産フェア」を開催しました

県民の皆さんに愛知県の農林水産業や農山漁村の文化に触れ、食育や地産地消等について楽しく学んでいただくため、平成22年11月20日（土）から23日（火・祝）までの4日間、名古屋市東区のナゴヤドームにおいて「あいちのふるさと農林水産フェア」を開催しました。

新鮮な農林水産物やふるさと製品の販売

県内各地から、キャベツ、ミニトマト、みかん、レンコンなど新鮮な農産物が値ごろな価格で販売され、愛知県産の新鮮な農林水産物やふるさと製品を購入されていました。

また、企画展示の「あいちのふるさと食品」では、愛知県産の農林水産物を使った新商品に、多くの来場者が関心を寄せていました。



企画展示「あいちのふるさと食品」

三河の山里体感プラザ

手作りこんにゃくなどの特産品の販売やクリスマスリース作りや草木染めなどの体験企画を通して、来場者が三河山間地域の山里文化を感じていました。



立浪和義氏によるトークショー

立浪和義氏によるトークショー

11月22日には、元中日ドラゴンズの立浪和義氏のトークショーが行われました。

約30分にわたり、「いろいろな健康食品もあるが、必要な栄養は食事で取るのが一番」など健康に気を使う元スポーツ選手らしい食の知識を披露されました。

体験コーナー

11月20日、21日には、小学生以下を対象に、松かさを使ったクリスマスツリー作りを行いました。

また、22日、23日には、愛知のお茶の試飲が行われ、愛知県ブースがにぎわいました。



愛知のお茶の試飲

今回は、「ドームうまいもんワールド」というタイトルの下、「あいちのふるさと農林水産フェア」と「全国ご当地グルメフェア」が同時開催され、134,033人の来場者があり、ピーク時には身動きが取れないほどのにぎわいを見せていました

2010 花半島事業フラワーフェスティバル in 東浦が開催されました

平成22年11月6日(月)～7日(日)の2日間、東浦町のイオンモール東浦で、「2010花半島事業フラワーフェスティバル in 東浦(以下、「フェスティバル」という)」が開催されました。

フェスティバルは、JAあいち知多花半島構想を具体化した事業として開催され、今回で4回目となります。

会場では、開催地の東浦町を始め知多半島5市5町がそれぞれで生産されている花と特産物等を組み合わせたブースを出展し、知多半島が花いっぱい運動推進の場であることを大いにPRしました。

フェスティバルは、2日間で2,751名の来場者があり、来場者アンケート回答者2,000名にカーネーションの花束をプレゼントするなど、花の消費拡大を啓発することができました。



開会式 実行委員会長あいさつ



開催地 東浦町ブース

【開催状況】

- | | | |
|--------|-----|---------|
| 平成19年度 | 第1回 | 東海市開催 |
| 平成20年度 | 第2回 | 阿久比町開催 |
| 平成21年度 | 第3回 | 半田市開催 |
| 平成22年度 | 第4回 | 東浦町開催 |
| 平成23年度 | 第5回 | 常滑市開催予定 |

【JAあいち知多花半島事業構想】

花半島事業推進本部(事務局:JAあいち知多生活部、平成16年度設置)が中心となり、「知多半島をより一層快適な空間にしていくために、四季を通じて花の咲き乱れる地域を目指し、同時に、愛知県有数の花の産地である知多半島のイメージアップとこれらを通じて、知多半島の農業振興・地域振興に寄与する」ことを目的に、知多半島5市5町及びJAの助成により運営されています。

銀座でフラワーウォーク ～旬菜・旬花 まるごと「あいち」交流会～

秋も深まる平成22年11月9日に、東京を代表する繁華街の銀座・ソニービル及び有楽町駅前の東京交通会館で、知事トップセールスとして「あいちの花 de フラワーウォーク」を開催しました。トップセールス3年目となる今年は、全国一の生産量を誇る愛知の花きをPRしました。

「フラワーウォーク」とは景気低迷で花きの販売不振が続く中、愛知県花き温室園芸組合連合会が花のある暮らしの推進と消費拡大を図る一環として、生産者自らが街へ出る機会に花を持って歩き、県民に花に親んでいただく、平成20年5月に提唱したものです。今回は、このフラワーウォークを広く知ってもらい、東京の消費者の方々にも参加していただく企画しました。



フラワーウォークに出発する知事と倉内会長



花きと野菜・果樹のコラボレーション



屋外（ソニースクエア）での展示

ソニービルでは、1階エントランスホールに輪菊、スプレーマム、バラ、カーネーション、アルストロメリアなど約5千本の切り花を飾り、屋外の展示場にポインセチア、ポットマム、パンジー、ミニシクラメンなど約2千鉢の鉢花を飾りました。特に、ソニービル1階エントランスホールでは野菜・果樹と花きのコラボレーション展示も行い、花の中にさりげなくキャベツ、ブロッコリー、次郎柿などをアレンジし、消費者に楽しんでいただきました。

なお、これらの展示は11月8日(月)から11月14日(日)までの1週間行いました。

また、知立市の「ミスかきつばた」や、JAのマスコット、まりくん(JAひまわり)、みなみくん(JA愛知みなみ)、トッピーちゃん(JA豊橋)も参加し、イベントを大いに盛り上げていただきました。



みなみくん、まりくん、トッピーちゃん
(左から)

平日にもかかわらず大勢の消費者が集まったソニービル1階エントランスホールで、神田知事、JAあいち経済連倉内会長が愛知県産花きのPRを行いました。続いて、県内の花き主要生産団体である愛知県花き温室園芸組合連合会伊藤会長(JA愛知みなみ組合長)、JAひまわり柴田組合長、JA豊橋白井組合長による、産地ごとの特色ある花きの紹介がありました。



JAの組合長による県産花きの紹介

その後、神田知事、倉内会長、JAの組合長が、フラワーウォーク参加者へ花束をプレゼントしました。花束は5本入りの豪華なもので、受け取る消費者から歓喜の音があがりました。フラワーウォークには、神田知事、倉内会長、JAの組合長も参加し、銀座の繁華街で、多くの方々に愛知の花を見ていただきました。

ゴールとなった東京交通会館では、花束を持った参加者を始め多くの人々で賑わいました。東京交通会館では、本県産の野菜や果物をPRするため、フラワーウォーク参加者へのミニトマトのプレゼントや、これからは旬となる愛知のキャベツ、ふき、ブロッコリー、トマト、ぎ



東京交通会館で知事あいさつ

んなん、次郎柿など青果物の展示及び販売を行いました。販売が始まると、年末年始のバーゲンセールスを思わせるような盛況で、消費者も販売する職員も汗をふきながらの即売会となりました。

知事トップセールスも3年目となり、首都圏における愛知産の認知度は以前に比べて高まりつつあると思われませんが、これからも活動を継続することが消費拡大のためには大切であると考えます。

平成22年度 第1回卸売市場活性化実務講座について

卸売市場のせり人に対して、生鮮食料品等の流通等に関する幅広い知識を習得してもらうために、第1回目の講座を愛知県三の丸庁舎で開催しました。

講座では、食育推進課から食品表示についての講義の後に、中部水産株式会社取締役部長の神谷友成氏から、「市場の変化について」という演題で、市場における目に見える変化、見えない変化とそれに対応するためのせり人の心得について講演がありました。ここでは神谷氏の講演内容の概要を紹介します。

1 市場の変化

目に見える変化

- ・ 漁獲量の減による入荷量の減少。
- ・ 消費者が処理の必要な丸魚の購入を嫌うようになった。
- ・ 魚の知識の少ないせり人の増加。
(経費節減により研修等が不十分)
- ・ 売れる魚がイワシ、サバからサケ(切身)カツオ(安価)、サンマ(認知度)に変化している。

目に見えない変化(消費者の価値観・購買の変化)

- ・ 魚の消費量は、平成18年度から肉の消費量を下まわった。
- ・ 消費者は毎日の夕食のメニューを決めるのは面倒と感じているが、押し付けられるのは嫌がる。(量販店では、完成がイメージできるメニューを提案)
- ・ 家庭におけるメニューの決定権は子供が持っている。
- ・ マイ包丁を持つ20代の男性が増え、結婚後は男性も夕食を作っている。

2 変化に対する市場の現状

- ・ 市場は変化を嫌い、例年通りの対応を選択しがちである。
- ・ このままではダメであると分かっているがどうして良いか分からない。
- ・ 外部環境の変化に対応する方策については、総論賛成、各論反対である。

3 今後の市場、せり人に求められるもの

- ・ 市場は「言いつばなし」から「提案型」に変わらなければならない。
- ・ 消費者がほしい情報は産地が持っている。産地に一番近いせり人が情報伝達をしなければならない。
- ・ 小売の現場に出かけて情報収集をかかしてはならない。
- ・ 実際の食卓のシーンをイメージした商品の提案や売文句(ポップ)が書ける商品の販売が必要になる。



講演する神谷氏

愛知県の「花育」の取り組み

1 「花育」とは

「花育」とは、幼児・児童の成長期において、花と緑に親しみ・育てる機会を提供し、やさしさや美しさを感じる情操を育むとともに、花や緑を介して地域のつながりを深めるなど、花を教育、地域活動に取り入れる取り組みです。

「花育」の効果

感謝する気持ちを育む

やさしい気持ちを育む

探究心や想像力を育む

人とのつながりを作り、広げる

子どもだけでなく家族や周囲の人々へもよい影響を及ぼす波及効果への期待

2 花の王国あいち推進事業での取り組み

本県は、愛知県花き温室園芸組合連合会、愛知県経済農業協同組合連合会とともに、「花の王国あいち推進事業」として花育活動を行っております。

地域における花育教室の実施

花き生産者、流通関係者、公益社団法人日本フラワーデザイナー協会等が小中学校に出向き、花の栽培の説明やフラワーアレンジメント、花の寄せ植え等の実習を開催し、花に親しむ機会をつくりました。



花き生産者による花育教室

花に込めたメッセージ募集

花を贈る時に相手に伝えたいメッセージを県民から募集し、優秀作品には、花をプレゼントしています。平成22年度は、831名の応募があり、普段は言えない感謝の気持ちを込めたメッセージが多く寄せられ、多くの方に花への興味や関心を持っていただきました。



玄関にユリの花を飾るのが大好きな妻、二人で種をまいてお水やりをかかさないう娘たち。ずっと花に囲まれ笑顔のたえない家族でいれるようパパは毎日がんばります。

あいちキッズ・フラワー・フェスタ

愛知県の花き関係者が一同に集い、子ども達にあいちの花のすばらしさを伝えるイベントとして、愛知名港花き地方卸売市場(平成22年7月25日)で開催しました。

子ども達が実際に機械を操作しながらセリの体験を行い、花の流通についても楽しく学ぶことができました。



公益社団法人日本フラワーデザイナー協会愛知県支部から講師を招き、親子でフラワーアレンジメント



機械セリの体験

愛知産青果物の動向

青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ±2%台以内
 やや : ±3～5%台
 かなり : ±6～15%台
 大幅 : ±16%以上

○ 名古屋市中央卸売市場（品目：れんこん）

	入荷量 (t)		卸売価格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
21年実績	508	278 (55%)	373	386	茨城 (44%)
22年見通し	500	—	370	—	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>愛西市を始め海部地区を中心に入荷。 愛知の作柄は前年よりはやや少なく、茨城は前年並みとなる見込み。需要は年末25日以降に集中する。品薄による価格の上昇が予想される。品種は、愛知では備中ロータス为中心。最近は箱詰め、販売のしやすさからダルマ系がよく出ている。</p>			<p>今年は厳冬が予想され、煮物の材料の需要は高まることが予想される。若い人を中心に歯ごたえのある食べ物は避けられる傾向にあるので、従来の調理法に加え、ペースト状にして汁物、鍋ものの具材にするなど、新しい食べ方を提案していくことも必要。 例年出荷時期が集中するため、大きなピークを作らず、価格維持する等の工夫も必要。</p>		

○ 東京都中央卸売市場（品目：サニーレタス）

	入荷量 (t)		卸売価格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
21年実績	658	124 (19%)	254	285	茨城 (37%) 福岡 (13%)
22年見通し	630	—	260	—	
概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>茨城の秋作は終盤を迎え、本県産と静岡からの入荷が増加してくる。 愛知は高温、干ばつの影響も薄れ、順調である。静岡は夏場の高温、干ばつの影響で生育が遅れており、12月中旬まで入荷量は少ない見込みである。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込みである。</p>			<p>サニーレタスは業務需要のウエイトが高く他県産地のレベルが上がっているため、生産量を確保しより一層の安定出荷をお願いしたい。 切り口の処理、低温輸送などの鮮度保持はもちろんのこと、色づけにも十分注意して出荷して欲しい。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の12月の見通し

名古屋市中央卸売市場

11月15日現在

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜	17年	37,972	204	170	188	255	愛知 30%
	18年	38,895	183	156	184	208	北海道 25%
	19年	38,266	199	194	187	218	茨城 6%
	20年	37,803	206	203	200	216	長野 4%
	21年	37,192	191	180	183	208	
	計	5カ年平均	38,026	197	-	-	-
	22年見通し	35,200	232	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は地元愛知と北海道が中心。葉もの、根菜を中心に、梅雨明け後の高温、干ばつによる生育不良で入荷量は少なく小玉傾向。北海道の土ものは昨年より入荷量少なく、高騰する見込み。 入荷量は、前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。							
だいこん	17年	2,414	72	45	71	99	千葉 44%
	18年	2,130	47	42	47	51	愛知 32%
	19年	2,274	65	71	64	59	静岡 6%
	20年	2,348	71	82	71	59	徳島 6%
	21年	2,263	55	48	48	67	
	計	5カ年平均	2,286	62	58	61	68
	22年見通し	2,200	70	70	70	70	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は地元愛知と千葉中心。作付面積は減少している。播種期の低温、梅雨明け後の高温による前月出荷分の生育遅れから今月はほぼ回復する見込み。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。							
にんじん	17年	2,519	97	84	88	124	愛知 65%
	18年	2,828	69	67	66	74	岐阜 14%
	19年	2,828	89	102	75	94	千葉 12%
	20年	2,644	95	103	91	90	北海道 5%
	21年	2,546	69	67	65	75	
	計	5カ年平均	2,673	84	85	77	91
	22年見通し	2,500	90	80	80	110	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は愛知中心で、岐阜は上旬まで、熊本は下旬に出てくる。今年は入荷量不足による高単価が続いたが、12月には少し落ち着くも、平年よりやや高めで推移する。 入荷量は前年並みで、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。							

東京都中央卸売市場

11月19日現在

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	17年	137,544	229	181	214	288	千葉 21% 茨城 17% 北海道 13% 愛知 7% (愛知産比率 7%)
	18年	140,412	202	173	199	232	
	19年	139,477	222	212	216	237	
	20年	139,352	225	221	218	236	
	21年	139,942	209	190	191	243	
	5カ年平均	139,345	217	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
22年見通し	134,000	230	-	-	-		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>関東産地からの入荷が中心で、土物類は前月に続き北海道からの入荷となる。全般的に夏場の高温、干ばつなど天候不順の影響が残るものもあり、小玉傾向などサイズが小さいものの入荷が見込まれる。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>							
だいこん	17年	13,862	64	43	59	85	千葉 49% 神奈川 45% 茨城 2% 徳島 2% (愛知産比率 0%)
	18年	12,872	45	39	42	54	
	19年	13,905	64	67	62	62	
	20年	13,132	68	78	68	59	
	21年	12,694	53	46	44	66	
	5カ年平均	13,293	59	55	55	65	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
22年見通し	12,700	53	52	55	52		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>関東産地からの入荷が中心となる。千葉は夏場の高温、干ばつの影響が残り、生育遅れがある。神奈川は高温・干ばつから回復し概ね順調で平年並みの入荷が見込まれる。 入荷量は前年並み、価格も前年並みの見込み。</p>							
にんじん	17年	8,861	105	83	92	137	千葉 80% 埼玉 8% 茨城 7% 香川 3% (愛知産比率 0%)
	18年	9,905	73	68	70	82	
	19年	10,046	100	103	93	104	
	20年	8,877	110	114	102	117	
	21年	9,517	80	77	74	87	
	5カ年平均	9,441	93	89	86	105	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
22年見通し	7,200	120	120	115	125		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>千葉を中心とした関東産地からの入荷が本格化する。千葉は夏場の高温、干ばつの影響が予想以上に残り、生育遅れと小振りの比率が高い、作柄も平年を下回る見込み。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうきさい	17年	4,117	67	54	64	79	愛知 58% 茨城 27% 長野 6%
	18年	3,834	48	42	50	50	
	19年	3,914	58	54	58	61	
	20年	3,965	65	61	65	68	
	21年	3,696	49	45	48	54	
ほうきさい	5カ年平均	3,905	58	51	57	63	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
ほうきさい	22年見通し	3,600	60	60	50	70	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は地元愛知と茨城中心。梅雨明け後の高温、干ばつの影響でやや巻きが甘く、切り上がりは早くなる見込みだが、1月までは潤沢な入荷が見込まれる。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
キャベツ	17年	2,961	120	76	108	173	愛知 90% 茨城 7% 鹿児島 1%
	18年	3,271	40	32	45	44	
	19年	3,419	74	70	79	73	
	20年	3,387	107	116	104	101	
	21年	3,385	51	41	40	73	
キャベツ	5カ年平均	3,285	78	67	75	91	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
キャベツ	22年見通し	3,300	100	100	100	100	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は愛知、茨城中心。播種期の高温・干ばつの影響が残り、生育はやや遅れ気味で小玉傾向。今年は価格高から前進出荷が見込まれ大きな入荷のピークはなく、高単価のまま推移する見込み。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。</p>					
ほうれんそう	17年	346	577	385	588	879	愛知 84% 群馬 8% 岐阜 3% 茨城 2%
	18年	487	280	246	310	277	
	19年	490	337	388	342	284	
	20年	437	410	480	404	352	
	21年	393	436	395	425	498	
ほうれんそう	5カ年平均	430	396	375	402	431	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
ほうれんそう	22年見通し	400	400	400	300	500	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は地元愛知主体で、群馬、徳島。愛知は高温による定植の遅れと病害虫の発生により生育が遅れていたが、今月は回復してまとまった入荷となり、価格も落ち着く見込み。 入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					

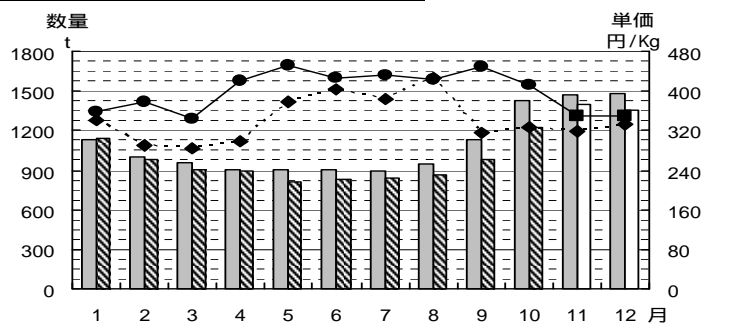
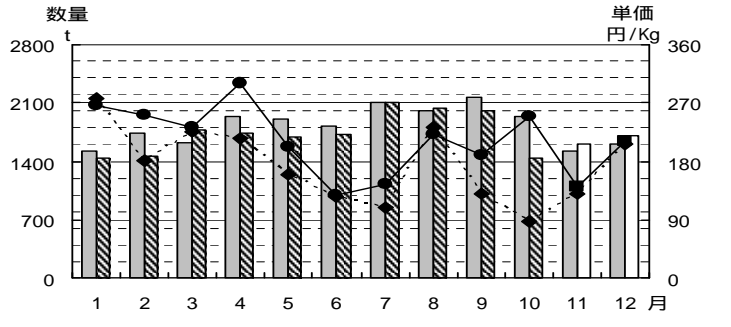
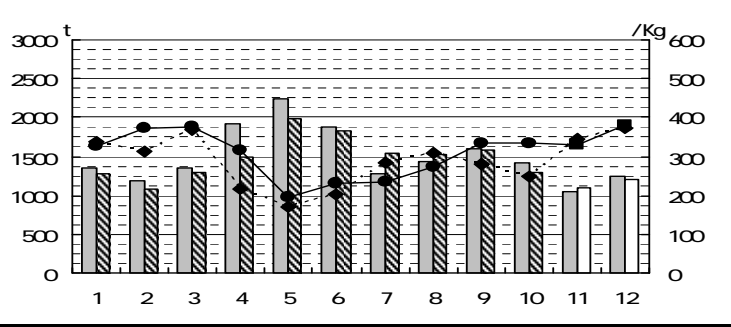
東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	17年	15,523	44	36	39	56	茨城 96%
	18年	14,307	29	25	29	32	群馬 1%
	19年	14,951	39	37	37	43	栃木 1%
	20年	14,844	48	47	47	49	岩手 0%
	21年	14,727	30	28	27	33	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	14,870	38	35	36	43	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
22年見通し	14,100	60	65	55	60		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長野に代わり茨城からの入荷が中心となる。茨城の生育は高温、干ばつによる発芽不良や徒長、活着不良が散見された。全体的にやや小玉傾向で出荷も遅れ気味。 入荷量はやや前年を下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
		<p>ほうき monthly price and quantity chart showing monthly quantity (t) and unit price (円/kg) from Jan to Dec. Quantity is shown as bars and price as a line with diamonds.</p>					
キャベツ	17年	12,365	110	73	108	150	愛知 50%
	18年	13,105	42	34	46	45	千葉 33%
	19年	12,845	70	70	72	67	神奈川 8%
	20年	12,536	100	112	100	88	茨城 5%
	21年	13,948	55	47	44	75	(愛知産比率 50%)
	5ヵ年平均	12,960	75	66	73	84	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
22年見通し	12,500	90	100	80	90		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>千葉を始めとする関東産地に愛知からの入荷が本格化する。千葉は高温、干ばつの影響が残り、生育が遅れ気味で小玉傾向。愛知の生育は高温、干ばつの影響は薄れ、概ね順調であるも、小玉傾向である。 入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
		<p>キャベツ monthly price and quantity chart showing monthly quantity (t) and unit price (円/kg) from Jan to Dec. Quantity is shown as bars and price as a line with diamonds.</p>					
ほうれんそう	17年	1,956	474	317	460	676	群馬 36%
	18年	2,061	335	281	402	327	千葉 19%
	19年	2,032	367	381	369	352	茨城 19%
	20年	2,043	360	413	350	320	埼玉 17%
	21年	1,899	406	358	362	507	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	1,998	387	350	388	433	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
22年見通し	2,080	350	355	330	365		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東産地からの入荷が中心となる。群馬は、高温、干ばつの影響も薄れ、生育順調である。千葉、茨城は概ね生育順調、埼玉は遅れていた生育も回復傾向。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
		<p>ほうれんそう monthly price and quantity chart showing monthly quantity (t) and unit price (円/kg) from Jan to Dec. Quantity is shown as bars and price as a line with diamonds.</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	17年	1,302	345	266	302	455	愛知 21%
	18年	1,314	266	257	274	266	大分 13%
	19年	1,385	356	368	329	369	静岡 13%
	20年	1,442	310	303	292	337	群馬 10%
	21年	1,477	332	283	308	391	
ねぎ	5ヵ年平均	1,384	322	296	301	364	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
ねぎ	22年見通し	1,350	350	350	350		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は愛知の長ねぎ、静岡、群馬、大分の白ねぎ。愛知の長ねぎは夏の高温で根の張りが悪く太さ不足で、平年より3、4割少ない見込み。静岡も量少なく、高単価で推移する。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					
しそ	17年	1,682	245	135	241	378	兵庫 43%
	18年	2,400	151	114	159	175	愛知 15%
	19年	1,959	180	174	188	178	静岡 13%
	20年	1,607	282	294	259	296	熊本 10%
	21年	1,615	206	188	181	240	
しそ	5ヵ年平均	1,853	207	175	201	245	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
しそ	22年見通し	1,700	210	180	200	230	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は兵庫中心で、あと茨城の残量。兵庫の生育は夏場の少雨により順調。愛知はブロッコリーへの転換が増え、面積減少している。静岡は定植の遅れから生育が遅れている。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年並みとなる見込み。</p>					
きゅうり	17年	1,240	359	272	361	456	愛知 38%
	18年	1,163	507	371	434	727	宮崎 25%
	19年	2,316	221	166	233	276	高知 21%
	20年	1,267	408	394	398	433	鹿児島 13%
	21年	1,242	373	316	347	463	
きゅうり	5ヵ年平均	1,446	350	283	336	439	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
きゅうり	22年見通し	1,210	380	390	370	390	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は愛知、宮崎、高知中心。各産地とも作付面積は前年並み。前月は高温の影響で棚もちが悪かったが、今月は順調な出荷を見込む。冷え込みが早いと入荷量が減少する。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年並みとなる見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	17年	6,505	230	174	208	298	千葉 25%
	18年	6,633	183	185	180	184	埼玉 24%
	19年	6,486	258	268	235	270	茨城 14%
	20年	6,826	196	207	172	209	群馬 12%
	21年	6,464	243	205	216	298	(愛知産比率 0%)
	5カ年平均	6,583	222	208	202	251	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	6,200	270	270	260	280	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>関東産地からの入荷が本格化してくる。千葉は高温、干ばつの影響が薄れているも、品質低下が見られる。茨城、埼玉は高温、干ばつ、秋雨の影響が残り、生育の遅延が見られる。 全体の入荷量はやや前年を下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
しそ	17年	7,206	263	141	256	403	静岡 29%
	18年	8,651	161	126	170	179	茨城 16%
	19年	8,322	183	178	190	181	香川 15%
	20年	7,544	262	265	246	275	兵庫 10%
	21年	7,383	205	185	187	237	(愛知産比率 3%)
	5カ年平均	7,821	212	178	208	250	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	7,090	215	200	220	225	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>静岡からの入荷が本格化し、香川、兵庫からの入荷も続く。静岡は定植後の高温干ばつでやや生育遅れが見られる。香川も同様である。兵庫は高温、干ばつによる生育遅れが回復しつつある。 入荷量はやや前年を下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
きゅうり	17年	4,976	380	294	373	476	宮崎 32%
	18年	4,276	532	379	464	774	千葉 19%
	19年	4,813	394	342	381	462	高知 18%
	20年	4,949	423	413	408	451	埼玉 16%
	21年	4,989	390	333	363	475	(愛知産比率 -%)
	5カ年平均	4,801	421	351	396	521	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	4,900	390	350	380	440	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>関東産地に加えて西南暖地からの入荷が増加してくる。埼玉の生育は順調で平年並の入荷見込み。千葉は初期生育があまり良くなく根の張りが弱い。宮崎は生育順調で安定した出荷が見込まれる。 全体の入荷量は前年並み、価格は前年並みの見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	17年	426	366	353	379	366	愛知 48%
	18年	445	365	337	375	381	熊本 46%
	19年	441	359	370	363	343	鹿児島 3%
	20年	427	355	349	357	359	高知 2%
	21年	457	362	372	381	327	
	5カ年平均	439	361	356	371	355	
22年見通し	430	350	350	350	350	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は愛知の干両と熊本の長なす中心。愛知は高温による花落ち等が発生し数量の増加は見込めない。熊本は生育遅れ気味だったが回復傾向。量販店で販売面積も減り、需要が弱くなる時期。入荷量、価格ともに前年をやや下回る見込み。</p>					
ト マ ト	17年	834	411	401	403	431	愛知 37%
	18年	1,098	260	320	252	209	熊本 32%
	19年	825	424	539	400	355	三重 21%
	20年	866	337	395	313	308	岐阜 8%
	21年	953	282	347	254	250	
	5カ年平均	915	336	394	318	303	
22年見通し	920	300	350	300	270	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は西に切替り、愛知、熊本、三重中心。夏場の高温の影響からはほぼ回復。熊本、三重でやや生育遅れ。入荷の大きなピークはできず、高単価で推移する見込み。入荷量は前年をやや下回り、価格は安かった前年をかなり上回る見込み。</p>					
ミ ニ ト マ ト	17年	218	775	685	771	851	愛知 49%
	18年	271	486	546	414	505	熊本 43%
	19年	228	793	844	857	697	和歌山 7%
	20年	228	685	758	646	667	
	21年	294	522	486	483	605	
	5カ年平均	248	639	650	617	655	
22年見通し	250	580	500	600	650	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は愛知、熊本中心。作付は前年並みで、高温の影響からは回復する見込み。小玉傾向だが着果は良好。今後冷え込みが早まると、入荷量の急激な減少も発生する。入荷量は前年をかなり下回り、価格は安かった前年をかなり上回る見込み。</p>					

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	17年	2,125	399	422	405	371	高知 59%
	18年	1,962	425	246	444	408	福岡 18%
	19年	2,071	400	416	388	395	佐賀 6%
	20年	2,051	400	399	407	393	熊本 6%
	21年	2,001	400	435	408	355	(愛知産比率 -%)
	5ヵ年平均	2,042	405	385	410	384	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	2,200	360	350	370	360	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東産地にかわり、西南暖地からの入荷が本格化する。高知の生育は1週間程度の遅れが見られるものの品質は良好。福岡の生育は概ね順調で平年並みの出荷見込み。佐賀も生育順調で平年を上回る出荷となる。入荷量は少なかった前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
ト マ ト	17年	4,474	433	415	416	468	熊本 43%
	18年	5,973	284	343	274	244	愛知 17%
	19年	4,561	447	557	434	377	千葉 10%
	20年	4,652	396	462	364	367	栃木 8%
	21年	5,373	330	369	312	312	(愛知産比率 17%)
	5ヵ年平均	5,007	371	423	353	346	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	4,800	380	390	370	380	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東産地に加え、西南暖地と愛知からの入荷が本格化する。熊本は夏場の猛暑の影響で玉肥大は進まずM・Sが中心階級となる見込み。千葉の生育は若干遅れ気味でM・Sが中心階級となる見込み。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
ミ ニ ト マ ト	17年	976	740	625	739	851	熊本 28%
	18年	1,303	485	532	438	491	愛知 27%
	19年	1,027	788	818	848	706	千葉 13%
	20年	1,053	654	709	609	652	宮崎 11%
	21年	1,290	480	462	430	553	(愛知産比率 27%)
	5ヵ年平均	1,130	615	617	595	636	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	1,100	630	590	630	670	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東産地と愛知、熊本からの入荷が中心となる。愛知、熊本とも夏場の高温、干ばつの影響が残り、一部に生育は遅れがみられる。千葉県は生育遅れが見られるとともに小玉傾向。入荷量は多かった前年を大幅に下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	17年	561	360	358	357	365	宮崎 43%
	18年	370	439	313	407	697	鹿児島 40%
	19年	435	355	380	338	352	高知 17%
	20年	350	538	491	579	527	
	21年	376	477	424	489	517	(愛知産比率 0%)
マン	5カ年平均	418	424	389	423	475	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	380	450	400	450	500	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は西南暖地中心。各地とも作付面積は微増で、生育は良好。前月中下旬に入荷のピークを迎え、今月中旬以降、気温の低下とともに数量は減少する見込み。 入荷量は前年並みで、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					
ばいしよ	17年	3,613	96	94	96	97	北海道 78%
	18年	3,551	97	98	100	92	長崎 22%
	19年	3,062	82	78	84	84	京都 0%
	20年	3,068	87	89	90	80	
	21年	2,939	115	129	124	97	(愛知産比率 0%)
いしよ	5カ年平均	3,247	95	97	99	90	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	2,700	150	150	150	150	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は北海道中心で、あと長崎。前月に引き続き、北海道は定植の遅れと播種時の多雨から小玉傾向で、平年になく少ない収穫量を計画的に出荷。長崎は生育順調だが数量は少ない見込み。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は高かった前年を大幅に上回る見込み。</p>					
たまねぎ	17年	5,881	79	86	76	75	北海道 97%
	18年	5,872	75	75	82	69	アメリカ 2%
	19年	5,832	66	70	66	63	兵庫 1%
	20年	6,094	64	67	66	58	中国 0%
	21年	6,013	87	94	96	76	
ねぎ	5カ年平均	5,938	74	78	77	68	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	5,200	150	150	150	150	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は北海道中心で、高価格が続き、業務需要に対応できないことから輸入ものが増えてくる。高温の影響から全体的に小玉傾向でL、M中心となる見込み。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は高かった前年を大幅に上回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	17年	1,752	331	286	333	375	茨城 46%
	18年	1,571	425	275	390	685	宮崎 25%
	19年	1,579	366	377	360	358	高知 16%
	20年	1,642	493	488	522	457	鹿児島 11%
	21年	1,400	485	396	508	564	(愛知産比率 -%)
マ	5カ年平均	1,589	417	363	420	483	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	1,600	430	380	420	490	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		茨城に加えて西南暖地からの入荷が始まる。茨城の生育は品質・肥大とも良好であり、順調な入荷が見込まれる。高知、宮崎の生育は概ね順調。鹿児島は高温、干ばつの影響が一部に残り着果量の減少が見られる。入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。					
ばいしょ	17年	7,426	103	101	103	105	北海道 88%
	18年	7,640	111	110	110	114	長崎 11%
	19年	8,094	89	85	90	91	鹿児島 1%
	20年	8,093	97	97	96	97	
	21年	7,892	134	131	132	140	(愛知産比率 0%)
い	5カ年平均	7,829	107	105	106	109	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	7,500	140	130	140	150	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		北海道からの入荷が中心となる。北海道内の産地により作柄の差があるものの天候不順により全体的に小玉傾向。長崎は好天が続いており、生育順調である。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。					
たまねぎ	17年	10,523	98	95	98	100	北海道 93%
	18年	10,313	87	85	87	88	米国 3%
	19年	10,009	75	74	76	77	中国 3%
	20年	10,509	74	75	74	73	
	21年	10,206	113	106	115	118	(愛知産比率 0%)
ね	5カ年平均	10,312	89	87	90	91	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	9,700	120	115	120	125	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		春先まで北海道中心の入荷が続く。早生種から中晩生種へと切り替わる。夏場の高温、局地的な大雨で病害が発生し、サイズもL中心の小玉傾向。貯蔵時の劣化も見られる。入荷量は少なかった前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果実計	17年	17,892	237	192	250	278	静岡 20%
	18年	14,197	339	297	341	380	愛知 20%
	19年	15,207	269	230	276	302	フィリピン 14%
	20年	13,535	303	272	307	331	和歌山 9%
	21年	13,251	257	227	268	277	
	5カ年平均	14,816	279	-	-	-	
	22年見通し	11,400	340	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>春の天候不順による花落ち・着果不良と、梅雨明け後の高温の影響で、果樹を中心に入荷は平年になく少量となる見込み。中心となるみかんも裏年で小玉傾向。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
みかん	17年	8,164	147	128	130	183	静岡 41%
	18年	6,003	295	281	286	313	愛知 35%
	19年	7,675	152	138	138	176	和歌山 17%
	20年	6,155	244	230	240	259	熊本 3%
	21年	6,337	163	139	159	184	
	5カ年平均	6,867	194	-	-	-	
	22年見通し	5,500	260	260	260	260	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は静岡、愛知、和歌山中心。裏年で出荷は遅れているが、大玉傾向でM-L中心。単価高が見込まれるため、1ネット当たりの玉数を抑えた販売となる。年内は平年の90~95%の入荷量を見込む。入荷量は前年をかなり下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。</p>					
いちご	17年	651	1,770	1,198	1,790	2,259	愛知 57%
	18年	740	1,437	1,148	1,433	1,636	熊本 18%
	19年	636	1,686	1,429	1,611	1,912	三重 10%
	20年	717	1,329	1,126	1,284	1,556	鹿児島 7%
	21年	647	1,307	1,163	1,180	1,539	
	5カ年平均	678	1,500	-	-	-	
	22年見通し	620	1,400	1,200	1,300	1,550	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は愛知、熊本中心。高温による定植の遅れから、5~10日生育遅れが発生し、11月入荷分が12月に出回る見込み。中下旬の数量は平年並みにある見込み。全国的に炭疽病が発生している。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果 実 計	17年	68,964	275	231	379	311	愛媛 28%
	18年	55,801	381	339	386	411	和歌山 11%
	19年	63,636	307	267	322	324	長崎 8%
	20年	60,870	322	292	324	345	フィリピン 8%
	21年	62,430	272	245	279	287	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	62,340	309	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	59,000	300	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
みかん中心にりんご、いちごなどが入荷する。りんごは全体に小玉傾向であるが台風被害もなく入荷順調で、上位等級多い見込み。年末ギフト需要の時期であるが不景気感が強い相場で不安要素がある。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回ると見込まれる。							
み か ん	17年	40,780	167	149	160	206	愛媛 45%
	18年	31,117	289	284	292	187	和歌山 17%
	19年	39,384	185	179	190	291	長崎 13%
	20年	35,101	243	242	245	243	熊本 8%
	21年	36,856	172	167	170	175	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	36,648	207	200	207	222	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	33,000	270	260	260	280	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
愛媛中心に和歌山等から普通温州が入荷する。愛媛は極早生、早生同様に生育不良であり、小玉果比率が高い。また、食味は酸味がやや目立つ。熊本県も小玉傾向であるが概ね順調な生育である。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回ると見込まれる。							
い ち ご	17年	3,071	1,802	1,290	1,813	2,213	栃木 43%
	18年	3,326	1,525	1,235	1,429	1,770	福岡 16%
	19年	3,128	1,683	1,434	1,538	1,982	茨城 12%
	20年	3,197	1,402	1,270	1,276	1,627	佐賀 11%
	21年	3,057	1,430	1,236	1,312	1,639	(愛知産比率 3%)
	5ヵ年平均	3,156	1,567	1,292	1,472	1,844	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	2,900	1,600	1,500	1,500	1,700	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
栃木、福岡、茨城等中心に入荷。栃木の生育は定植期の高温・乾燥により遅れがみられたが回復傾向にあるが、やや小玉傾向。福岡も生育遅れがみられるが、中旬以降は昨年並の入荷予想。茨城も小玉傾向。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回ると見込まれる。							

切花・鉢花の12月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 11月26日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実績	18年	4,620	49	
		19年	4,231	62	
		20年	4,387	52	
		21年	3,441	62	
		4ヶ年平均	4,170	56	
	22年見通し	3,500	60		
概要	愛知、三重、沖縄他から入荷。愛知は夏の高温の影響で立枯れ等が発生し、今月出荷分は翌月にずれ込んだ。黄菊も作付が1割減少。沖縄の作付面積は前年並みで、台風の影響もなく順調な入荷を見込む。白菊は後半品薄。入荷量は少なく堅調な動きとなる見込み。				
小 ぎ	実績	18年	2,788	28	
		19年	2,657	31	
		20年	2,846	26	
		21年	2,335	30	
		4ヶ年平均	2,657	29	
	22年見通し	2,350	30		
概要	沖縄、静岡、愛知から入荷。沖縄は長雨などの天候不順により作付けの遅れや生育不良が見られ、作付面積は前年を下回る。沖縄以外も同様で、少なめの入荷量が見込まれる。入荷のピークは24日頃となり堅調な取引が予想される。				
カ ー ネ ー シ ョ ン	実績	18年	1,407	45	
		19年	1,177	46	
		20年	1,233	41	
		21年	1,206	41	
		4ヶ年平均	1,256	43	
	22年見通し	1,200	45		
概要	愛知を中心に長野、和歌山等から入荷。前月までは高冷地産の減少により安定した価格で販売できたが、12月上旬までは引きが弱まりやや軟調となる。月後半は長いサイズを中心に年末需要から堅調な動きとなる見込み。				
か す み	実績	18年	350	50	
		19年	194	112	
		20年	213	89	
		21年	175	97	
		4ヶ年平均	233	81	
	22年見通し	200	85		
概要	高知、和歌山、熊本から入荷。各産地とも生育は順調で、品種は日持ちに定評のある「アルタイル」中心となる。月前半は入荷が集中することで軟調となるも、後半は年末需要もあり、業務需要を中心に堅調な動きとなろう。				

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆり	実績	18年	588	172	
		19年	537	193	
		20年	507	163	
		21年	437	168	
		4ヶ年平均	517	175	
	22年見通し	460	180		
概要	高知、愛知、静岡、新潟等から入荷。オリエンタル系は生育遅れから回復し、潤沢な入荷を見込む。てっぽうゆり、LA系は作付けが年々減少し、年末までは少なめの入荷となる。前半は業務需要中心で苦しい展開が予想されるが、年末は需要の増により堅調となる。				
洋らん	実績	18年	570	104	
		19年	537	116	
		20年	459	119	
		21年	402	121	
		4ヶ年平均	492	114	
	22年見通し	460	120		
概要	高知、徳島、鹿児島、静岡、愛知等から入荷。シンビジウムは夏の高温の影響で一部花とびも発生しているが、入荷は安定する。コショウランも回復してくるが、カトレアは年内不安定な入荷が予想される。価格はやや軟調だが、後半は年末需要で堅調となる。				
ばら	実績	18年	902	84	
		19年	849	84	
		20年	852	86	
		21年	895	81	
		4ヶ年平均	874	84	
	22年見通し	900	85		
概要	愛知、岐阜、三重、和歌山から入荷。各産地とも、年末需要とクリスマスの時期に出荷のピークを合わせてくる。クリスマス時期の赤系の価格が数年来低迷しているが、今年には出荷量がやや少ないことから堅調に推移する見込み。				
枝も	実績	18年	4,955	70	
		19年	4,831	75	
		20年	5,009	64	
		21年	4,597	64	
		4ヶ年平均	4,848	68	
	22年見通し	4,600	65		
概要	愛知、長野、静岡、熊本から入荷。正月用花材は愛媛、茨城を中心に前年並みの入荷。南天は雪害と夏場の高温により、枝折れや実の落下が発生し量がかかなり少ない。ボケ、ユキヤナギ等促成物は長野から前年並みの入荷。月前半の稽古花材から後半クリスマス、正月花材へと需要は変化する。				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ドラセナ類	実績	17年	15,251	893	
		18年	12,336	969	
		19年	15,182	879	
		20年	14,820	728	
		21年	11,898	730	
	5ヶ年平均		13,897	840	
	22年見通し		10,000	700	
概要	<p>入荷量は昨年より減少か。ユッカ、ヒロバドラセナの遅れが原因。8号鉢等、中鉢サイズがメインとなる。 昨年12月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知(59%)、2位鹿児島(21%)、3位岐阜(8%)となっている。</p>				
ショコバサボテン	実績	17年	22,916	486	
		18年	15,317	526	
		19年	27,626	399	
		20年	18,162	532	
		21年	12,035	482	
	5ヶ年平均		19,211	476	
	22年見通し		11,000	400	
概要	<p>入荷量は減少か。2色植え等に注目が集まる他は他の鉢花の入荷におされて、厳しい動きとなりそう。 昨年12月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知(97%)、2位茨城(3%)となっている。</p>				
シクラメン	実績	17年	756,722	396	
		18年	663,252	449	
		19年	698,717	464	
		20年	718,327	403	
		21年	616,427	400	
	5ヶ年平均		690,689	422	
	22年見通し		650,000	350	
概要	<p>入荷量は増加か。夏の猛暑で11月入荷のものが、この月にずれ込んだためか。ピークは上旬。昨年同様、5号鉢は相対取引が主体となるが、場合によってはセリ品が増加し、相場はやや下落する可能性あり。 昨年12月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知(37%)、2位山梨(13%)、3位長野(12%)となっている。</p>				

単位：鉢、円／鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
シンビジュウム	実績	17年	154,475	2,845	
		18年	156,441	2,802	
		19年	162,428	2,765	
		20年	167,941	2,305	
		21年	139,230	2,300	
	5ヶ年平均		156,103	2,606	
	22年見通し		120,000	2,200	
概要	<p>入荷量は夏の猛暑の影響で、花芽がとんだり、腐りが発生し昨年より減少か。大型系品種は遅れ気味。中・小型のアーチ仕立てに注目が集まりそう。 昨年12月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位愛知（52%）、2位徳島（12%）、3位高知（7%）となっている。</p>				
カランコエ	実績	17年	36,848	183	
		18年	36,477	162	
		19年	41,736	206	
		20年	37,078	204	
		21年	34,016	200	
	5ヶ年平均		37,231	191	
	22年見通し		34,000	190	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。2.5号～4号鉢以下が主体となる。相場は昨年同様、中値での値動きとなりそう。 昨年12月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位岐阜（53%）、2位埼玉（33%）、3位茨城（12%）となっている。</p>				
パンジー	実績	17年	719,237	38	
		18年	648,083	30	
		19年	660,540	46	
		20年	977,954	29	
		21年	601,375	30	
	5ヶ年平均		721,438	34	
	22年見通し		610,000	30	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。夏の猛暑で10月・11月入荷のものが、この月にずれ込んだため。相場は昨年並みか。 昨年12月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位愛知（44%）、2位奈良（20%）、3位三重（20%）となっている。</p>				

主要農林水産物の輸出入実績(2010年)

1 輸入実績

品名	9月						9月までの累計					
	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比
	トン	%	千円	%	円/kg	%	トン	%	千円	%	円/kg	%
野菜(生鮮・冷蔵)	54,780	119.4	6,753,694	108.3	123	73.7	522,572	126	52,549,868	126	101	96.5
トマト	240	83.1	68,951	98.7	287	108.7	2,285	148	812,080	197	355	130.7
たまねぎ	23,670	110.9	799,561	97.2	34	101.1	220,028	149	9,602,316	171	44	115.0
にんにく	1,605	84.9	365,923	162.9	228	225.4	14,200	94	2,564,356	183	181	172.9
ねぎ	4,000	137.2	382,565	106.9	96	95.8	34,566	147	3,167,104	127	92	91.1
ブロッコリー	5,280	112.1	821,697	110.0	156	82.3	27,885	110	4,729,537	114	170	104.2
結球キャベツ	605	51.7	21,588	47.9	36	113.0	13,973	112	528,375	118	38	105.0
にんじん・かぶ	10,004	203.4	363,020	146.0	36	68.7	45,798	139	1,968,304	111	43	84.9
ごぼう	3,621	92.6	191,101	115.3	53	105.9	26,064	97	1,396,128	119	54	122.6
えんどう	150	776.5	36,831	985.0	246	99.0	1,544	230	404,030	287	262	117.4
アスパラガス	563	89.1	359,486	90.2	639	93.8	8,409	116	4,116,273	108	489	88.2
まつたけ	576	120.7	1,988,538	98.7	3,453	60.3	1,196	107	3,761,992	101	3,146	79.0
しいたけ	254	142.9	65,274	141.6	257	88.4	3,629	125	916,958	136	253	107.8
かぼちゃ	181	187.9	19,311	141.9	107	67.2	81,297	99	5,488,098	115	68	111.3
果実(生鮮・乾燥)	140,801	91.1	14,914,418	88.8	106	83.9	1,464,946	92	171,813,286	97	117	105.0
バナナ	92,066	88.3	6,307,930	81.8	69	77.4	840,947	86	58,786,212	78	70	94.9
パイナップル	10,610	90.9	647,156	85.9	61	98.8	104,365	95	6,600,886	94	63	100.8
レモン	3,191	74.3	344,805	74.5	108	81.9	39,405	100	4,954,150	113	126	108.7
オレンジ	8,736	104.1	909,864	127.6	104	104.9	94,486	111	9,220,855	112	98	100.2
グレープフルーツ	3,748	118.0	221,192	150.8	59	81.8	147,278	93	13,472,194	99	91	103.4
メロン	3,417	142.0	260,618	141.6	76	84.6	22,979	93	2,318,391	89	101	95.8
ぶどう	636	468.2	165,863	506.7	261	97.2	8,033	144	1,354,151	152	169	91.1
キウイ	5,562	71.4	1,469,839	70.7	264	78.2	56,453	105	17,514,426	109	310	92.4
いちご	649	100.9	509,144	91.1	784	76.0	1,866	94	1,520,738	87	815	91.7
切花(生鮮・乾燥)	4,901	113.3	3,634,567	113.7	742	91.9	31,210	113	22,884,135	112	733	99.8
鳥獣肉類	150,673	124.5	60,818,992	119.8	404	80.4	1,317,067	109	560,231,006	108	425	99.9
牛肉(くず肉含む)	52,115	143.3	19,128,142	131.3	367	67.7	369,629	104	149,906,044	109	406	104.8
豚肉(くず肉含む)	55,705	110.0	29,225,277	109.9	525	98.9	576,228	108	302,227,840	108	524	100.1
鶏肉	36,443	129.0	8,555,118	145.3	235	66.3	309,278	125	69,806,740	114	226	96.9
水産物(生鮮・冷蔵・冷凍)	138,132	107.7	79,802,323	115.7	578	88.1	1,286,711	100	669,762,646	99	521	99.8
まぐろ類	19,485	118.5	18,380,833	148.6	943	88.5	159,663	100	126,105,783	89	790	91.4
さば・さんま・あじ・いわし	5,128	112.2	839,552	137.1	164	105.5	57,633	77	9,261,068	72	161	93.2

2 輸出実績

果実(生鮮・乾燥)	1,181	42.1	678,520	58.0	575	126.5	15,641	109	5,399,492	115	345	117.0
うんしゅうみかん	9	112.0	12,012	133.6	1,347	157.2	246	199	121,339	133	493	367.5
りんご	83	15.2	38,390	23.9	463	155.6	13,506	122	3,780,056	140	280	108.1
なし	484	33.8	246,968	43.3	511	120.3	542	35	273,524	44	505	125.2
野菜(生鮮・冷蔵・乾燥)	-	-	291,283	107.2	-	-	-	-	2,037,832	95	-	-
緑茶	210	143.7	410,899	153.5	1,961	103.0	1,599	113	3,100,693	125	1,939	110.9

資料 農林水産省大臣官房統計部「農林水産物輸出入情報」

関 連 指 数

項目 年月		消費者物価指数 (全国 平成17年 = 100) (愛知県 平成17年 = 100)				
		総合	生鮮野菜	生鮮果物	肉類	魚介類
全 国	21年平均	100.3	103.3	98.9	105.6	104.4
	22年 5月	99.7	116.8	104.0	102.9	102.9
	6月	99.7	111.6	119.4	103.5	102.3
	7月	99.2	107.8	100.4	104.0	102.2
	8月	99.5	114.3	114.0	103.6	103.3
	9月	99.8	123.2	122.8	103.4	104.2
愛 知 県	21年平均	100.9	100.6	100.0	102.4	103.6
	22年 5月	99.4	110.1	96.7	100.8	101.1
	6月	99.5	107.4	114.0	101.3	102.9
	7月	99.1	101.8	98.4	100.1	97.5
	8月	99.6	109.7	111.3	98.8	99.0
	9月	99.7	116.7	114.8	100.7	102.1

項目 年月		農業物価指数 (平成17年 = 100)				
		農産物総合	米	野菜	果実	畜産物
全 国	21年平均	95.7	98.0	100.7	91.5	98.5
	22年 5月	97.8	97.1	106.2	91.3	99.1
	6月	99.0	97.1	111.4	114.3	102.0
	7月	99.1	97.1	105.8	132.3	101.0
	8月	98.6	96.4	102.8	121.5	99.2
	9月	106.3	93.0	129.3	119.3	100.6

資料 農林水産省大臣官房統計部「農業物価指数」

資料 全 国・総務省統計局「消費者物価指数月報」
愛知県・愛知県県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

名 古 屋 市 小 売 価 格 (円)													
品目 単位 年月	うるち米 (単一品種、「コシ加」以外)	キャベツ	はくさい	ねぎ	レタス	ばれいしょ	だいこん	にんじん	たまねぎ	きゅうり	トマト	生しいたけ	りんご(ふじ)
	5 kg	1 kg										100g	1kg
21年平均	2,236	158	172	603	419	313	142	314	203	510	615	201	447
22年 5月	1,978	224	246	701	470	369	163	364	259	434	620	195	476
6月	2,003	170	206	750	381	366	152	322	230	458	504	179	504
7月	1,982	155	176	717	309	382	168	391	217	469	524	175	560
8月	1,937	168	194	745	496	377	183	442	218	473	592	139	-
9月	1,941	140	245	791	485	322	175	428	226	536	846	166	-
品目 単位 年月	みかん	グレープフルーツ	オレンジ	いちご	バナナ	キウイフルーツ	緑茶(せん茶)	カーネーション	きく	バラ	豚肉(ロース)	牛肉(ロース)	まぐろ
	1 kg	100g	1 kg	100g	1 kg	100g	1本	100g	1本	100g	100g	100g	100g
21年平均	604	312	382	143	254	682	603	162	166	326	223	752	479
22年 5月	-	278	333	120	228	724	557	166	153	302	220	700	420
6月	-	267	342	-	221	767	560	145	165	295	218	710	459
7月	-	285	349	-	215	769	569	144	176	288	212	731	420
8月	-	284	381	-	219	721	569	157	186	289	209	724	409
9月	906	291	365	-	234	735	563	154	178	288	215	742	412

資料 総務省統計局「小売物価統計調査報告」



あいち農産物生産流通レポート 450
平成22年12月発行
農林水産部食育推進課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6417